

2012 年 11 月 6 日
株式会社みずほコーポレート銀行

「みずほメガソーラーファンド」の組成について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、国内の太陽光発電事業者を支援することを目的に、太陽光発電事業を投資対象とするファンドを通して、総額 50 億円のエクイティ投資を行うことを決定しました。本ファンドの運営は、みずほフィナンシャルグループの傘下会社が新たに設立するみずほメガソーラーファンド株式会社が行っています。

国内の太陽光発電事業は、経済産業省により制定された電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく固定価格買取制度の導入により、今後益々事業者の増加が見込まれます。このような環境下、＜みずほ＞としては、太陽光発電事業におけるフロントランナーとして、数多くの案件に携わってきた知見を活かし、事業者の皆様のエクイティニーズにお応えしていきます。

当行は、本ファンド投資に加えて、長年に亘って蓄積されたプロジェクトファイナンスのノウハウ等を活用することで、みずほ銀行や地域金融機関とも連携しながら太陽光発電事業の育成をサポートしていきます。

金融の立場から我が国エネルギー政策における再生可能エネルギー分野の重要性を強く認識し、引き続き環境ビジネスへの取り組みを積極的に進めていきます。

以上

（参考：ファンドの概要）

名称	みずほメガソーラーファンド匿名組合
ファンド規模	50 億円程度（当行が 50 億円出資）
ファンド運営会社	みずほメガソーラーファンド株式会社
投資対象	国内太陽光発電事業
ファンド組成予定日	2012 年 11 月（関連当局への届出を前提）